

8月のささやまっこだより

令和4年8月1日
篠山保育園
園長 足立善一郎

毎日、うだるような暑さですね。大人たちは「あつい あつい」を口々に言っていますが、子どもたちはそんな暑さを感じながらも早く園庭に出て“せみとり”や“どろんこ遊び”を



したくてしょうがないといった感じです。このパワーはすごい！保育者も負けません。子どもたちの気持ちに負けないパワーで相手をし、熱中症のことも頭にとどめながら遊んでいます。“どろんこあそび”は、砂と水のコラボによって、子どもたちの心をぐいぐいと燃え上がらせてくれます。

水を運んでくる子、川やトンネルをつくる子の目つきが違います。「心がゆさぶられてい

る！」ということを見ていて感じます。そして友だちと声をかけ合い目標（川をつくって、水を流す）に向かって突き進んでいきます。それが達成できるとまた、新しい目標を定めて遊びが発展していきます。創造力が豊かですよ。さて、新型コロナウイルス感染症が本園でも流行しだ



しました。報道でもいわれているように、今回のコロナウイルスは感染力が強いです。たんぼぼ、さくら、もも組で陽性が確認されクラス閉鎖になりました。そして、保護者へも感染しているようです。家庭での感染対策は、難しいとは思いますが、できる範囲で頑張ってください。

今回、一緒に配布していますクラスだよりは、感染が広がる前に作成したもので、コロナに関しての内容には触れていません。ご了承ください。

みんなでほいくえんに泊ったよ！

7月16、17日、ばら組さんのおとまり会がありました。数週間前から計画を立て、楽しみにしていることがひしひしと伝わってきました。保護者の皆さんにとってもわが子と一日離れて過ごすという一大行事でもあったようです。おとまり会は、「自分のことは自分でする」、そして「なんでもできるんだ」という力を確認してもらう行事でもあります。当日は、天候にも恵まれ計画通りに進めることができました。夕食のカレーも自分たちで調理。“包丁”や“ピーラー”の使い方を給食の職員に教えてもらい、調理が始まりました。妙に包丁使いが上手な子もいて、聞いてみると「家で料理をしている」とのことでした。夜は、“キャンプファイヤー”。山の女神が登場し、火を灯してくれました。最後は、職員による花火大会、そして就寝。大好きな仲間と一緒にだと、なんでも乗り越えられる「気持ち」を強く感じたのではないかと思います。次の日の朝、“泊まることができた”ことに誇らしげな子どもたちでした。



8月の行事予定表

- 19日(金) 避難訓練
- 20日(土) 園内研究会
- 25日(木) 誕生会
- 22日…えいごであそぼう(ばら組)
- 29日…えいごであそぼう(ふじ組)

9月の行事予定表

- 13日(火) 運動会リハーサル
(さくら、もも、ふじ、ばら組)
【9時30分までの登園】
- 16日(金) 運動会準備(17:00から会場設営)
(早めのお迎えにご協力下さい)
- 17日(土) 運動会 (雨天の場合順延)
- 20日(火) 避難訓練
- 27日(火) 誕生会
- 5日、26日…えいごであそぼう(ばら組)
- 12日…えいごであそぼう(ふじ組)

運動会について

今年の運動会は、2歳児以上(さくら、もも、ふじ、ばら組)で行います。すみれ、たんぼぼ組はお休みになります。詳細は、後日運動会の案内を配布します。

8月10日(水)をもってプールあそび終了

シャワーや水浴びは引き続きしていきますので、もも、ふじ、ばら組さんは、タオルと着替えのパンツをビニール袋に入れて毎日持たせてください。水着はいりません。(プールカードの記入をお願いします)。すみれ、たんぼぼ、さくら組さんは今まで同様でお願いします。

8月1日から、給食室に二宮舞香(パート)が仲間入りしました。よろしくお願いします。

「わがままに手を焼いています」

過保護にしたつもりはないのに、なぜ？



わがままに手を焼いています。
もう歩きたくない！ ぜったい行きたくない！
そんな要求が通るまでグズグズ…。
私は、過保護な親ではありません。
むしろ、厳しく接しているのに
なぜでしょう？ 5才 保護者

このお母さんと同じように「過保護はいけない」と思い込んでいる人も多いことでしょう。でも、私は、お母さんたちにもむしろ、過保護になって欲しいと思っています。過保護というのは、子どもの望みを聞き、それに応えてあげることです。もしかしたら、お母さんは「～してはいけない」とか「～しなさい」とばかり子どもにいつてはいませんか。そして、そのことを、自分は過保護な親ではない、厳しく接していると思っではないでしょうか。そんなふうには、子どもの気持ちや望みを無視していたら、わがままになるのも不思議なことではありません。なぜなら、

子どもは、自分の言うことをよく聞いてくれた人の言うことを、聞くんです。

「わがままに困る」という場合は、子どもの声に耳を傾けていないことが多いのです。だからこそ、お母さんは子どもの言うことを、もっと聞いてあげることから始めてください。子どもが望む本を読んであげて、望むオヤツを用意してあげる。そんな風に心がけていればいるほど、今度は子どもの方が、親のことをよく聞く子になります。本当です。過保護で、甘やかし過ぎたら子どもがダメになるなんてことはありません。それに子どもの望みに十分すぎるほど応えてあげられる過保護なお母さんは滅多にいるものではありません。ただし、子どもが望んでもいないことを先回りしてやってしまうお母さんはたくさんいます。これは、過保護ではなく、過干渉です。過干渉は、子どもの言うことを聞いていないという点では、「～しなさい」と命令ばかりしているのと同じです。子どもを無視している放任とも同じです。

「子育てでいちばん大切なこと」佐々木正美 著より